

第1回 防府市人権学習市民セミナー

日時：令和7年8月27日（水）

午後1時30分から午後3時まで

会場：防府市創業・交流センター 多目的ホール

【男女共同参画に関する問題】

演題：わたしにもある？無意識の思い込み
～身近な例から考えるジェンダー平等と多文化共生～

講師：下関市立大学 教授 石川 朝子 さん

なんとなく心の中でもやもやしていたことが、アンコンシャス・バイアスだと分かりました。
自分の心を守るため、相手の心を守るため不必要な決めつけがないようにしていこうと思います。
(参加者アンケートより)

講師 石川 朝子先生のお話より

1 アンコンシャス・バイアスについて

アンコンシャス・バイアスは日本語に訳すと「無意識の思い込み」となります。例えば、若い人は発想が柔軟は年齢に関する思い込み、男性はパソコンに詳しいというのは性別・ジェンダーに関する思い込みと言えます。これらの思い込みは、過去の経験や情報、知識や価値観によって形成されると言われています。



2 ステレオタイプ(思い込み)とは？

アンコンシャス・バイアス（思い込み）について知るために、もう1つ大切となる言葉がステレオタイプです。これは、人の属性や一部の傾向に対する先入観や固定観念のことです。例えば、大阪のおばちゃんといえは、豹柄の服を着た人たちを思い浮かべるかもしれません。アンコンシャス・バイアスは偏見につながる可能性があります。

ステレオタイプ（思い込み）とは？

- 人の属性や一部の傾向に対する先入観や固定観念のこと
- さまざまな社会的集団に対してもつ **単純化された、画一的なイメージ**

ex.) 大阪のおばちゃん＝派手（豹柄）
中国では餃子を食べる
九州の人はお酒に強い

→ 偏見につながることもある



3 ステレオタイプと偏見の関係性

ステレオタイプは、ある特定の性質をみんなが持っているように思うことです。偏見はそのステレオタイプに好感、憧憬、嫌悪、軽蔑といった感情を伴ったものです。感情レベルであれば、個人の中で留めて置けますが、それが無意識の思い込みからなんらかの行動に移される場合があります。あまり聞きなれないことだとは思いますが、「マイクロアグレッション」という言葉についてみなさんと共有していきたいと思います。

4 マイクロアグレッションについて

マイクロアグレッションとは、悪意のない小さな差別的言動のことです。気付きにくいほど小さいけれど、攻撃性がある言動とされています。傷つける意図はないが、相手の持つ文化や行為への無理解、偏見が含まれており、日常の中にあるありふれた言葉や行動に現れます。

5 アンコンシャス・バイアスは誰もが持ちうるもの

アンコンシャス・バイアスは誰にでもあり、それ自体が問題ではありません。問題は、知らず知らずのうちに、自分と違う考え方を認めることができなかったり、自分の考え方を押し付けたりしてしまうことです。多様性が求められる現代で、誰もが枠にはめられず、自分らしく生きて行けるような社会をつくっていく必要があります。まずは、無意識の思い込みの存在を知った上で、自分の日頃の行動に潜む無意識の偏見や思い込みについて、振り返ることが大切です。



市民セミナー参加者アンケートより

- ステレオタイプ→偏見→差別につながるという話が印象に残った。このように進んでいくと差別につながるということに納得がいった。小さい頃からこのような学びを進めていくことが必要だと思った。
- アンコンシャスバイアスと差別、偏見の関係が良く分かり、とても面白い講演だった。自分は無意識にバイアスを差別につなげていないか、またマイクロアグレッションを行っていないか等、普段の生活を見直すきっかけとなった。

《感謝の言葉の部分は省略させて頂き、原文どおり掲載しています。》